

本市の基地対策の概要等について

1 本市の基地対策の概要

別紙 1 参照

2 令和 6 年度の国への主な要請状況 ※「国」との表記は複数の省庁への要請を示します。

(1) 横浜市会の要請

令和 7 年

1 月 27 日 横浜市会から「横浜市内米軍施設に関する要望書」を国に提出

「横浜市内米軍施設に関する要望書」(外務省、財務省、国土交通省、防衛省)

I 市内米軍施設の返還と跡地利用に関する要望

- 1 市内米軍施設・区域の早期全面返還の促進
- 2 民間土地所有者への配慮
- 3 跡地の適正管理と実態把握
- 4 返還国有財産の優遇処分
- 5 跡地利用に対する支援
- 6 根岸住宅地区に囲まれた土地に居住する市民及び地区周辺住民への適切な対応

II 米軍施設周辺的生活環境の維持向上に関する要望

- 1 米軍施設及びその周辺における安全対策の徹底
- 2 米軍に対する環境関係法令の適用
- 3 災害対策への協力
- 4 米軍人等に対する教育等の徹底
- 5 適時適切な情報提供

(2) 横浜市等の要請

ア 本市独自要望

令和 6 年

6 月 11 日、11 月 19 日 「国の制度及び予算に関する提案・要望書」を公表

「市内米軍施設の返還と跡地利用促進への支援」(発表日 11 月 19 日)

(外務省、財務省、国土交通省、防衛省)

- 1 市内米軍施設・区域の早期全面返還
- 2 米軍施設及び返還施設周辺的生活環境の維持・向上
- 3 跡地利用の具体化促進のための積極的な支援
- 4 根岸住宅地区の跡地利用に向けた地権者等との課題整理と解決

イ 関係自治体と連携した要請

令和6年

5月2日 神奈川県及び厚木基地周辺市とともに、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練に関する通告に対し、すべての訓練を硫黄島で実施し、厚木飛行場において訓練を実施しないよう防衛省に要請

8月7日 米軍ヘリコプターが海老名市内で予防着陸したことを受け、神奈川県基地関係縣市連絡協議会※（本市は副会長市）として、「米軍ヘリコプターMH-53の予防着陸に係る緊急要請」を国に提出
※構成自治体：神奈川県、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市

8月8日 神奈川県基地関係縣市連絡協議会として、米軍基地の整理・縮小・早期返還の推進等、「基地問題に関する要望書」を国に提出

- 要望項目（横浜市関連を一部抜粋）
- I 米軍基地の整理・縮小・早期返還を推進するとともに、基地跡地利用の地元の意向尊重等を図られたい
 - (1) 根岸住宅地区
 - (2) 池子住宅地区及び海軍補助施設
 - II 日米地位協定の見直しを行うとともに、その運用について、適切な改善を図られたい
 - (1) 瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックでの安全・安心への十分な配慮
 - (2) 根岸住宅地区での生活環境の維持向上

10月18日 米軍ヘリコプターが茅ヶ崎市内で予防着陸したことを受け、神奈川県基地関係縣市連絡協議会として、「米軍ヘリコプターの予防着陸に係る緊急要請」を国に提出

10月30日 厚木基地騒音対策協議会※において、厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機騒音の解消等に関する要請書が決定され、10月31日及び11月1日に日米両国政府に対し要請行動を実施
※構成自治体：神奈川県、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、町田市

3 令和7年4月22日（前回の基地対策特別委員会開催日）以降の主な経過

4月22日 基地対策特別委員会

- 議題**
- 1 市内米軍施設の現況等について
 - 2 特別委員会中間報告書（案）について

5月16日 神奈川県及び厚木基地周辺市とともに、空母ジョージ・ワシントン艦載機の着陸訓練に関する通告に対し、すべての訓練を硫黄島で実施し、厚木飛行場において訓練を実施しないよう防衛省に要請

6月6日 6月5日に、本市は瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックにオスプレイ1機の駐機を確認したことから、市民の皆様が不安に感じないように、「適時適切な情報提供」と「市民生活の安全・安心の確保」について、防衛省に要請

本市の基地対策の概要

1 これまでの経緯・市内米軍施設の現況（面積は小数点以下四捨五入）

- 終戦直後から都心部や港湾施設を中心に最大時には1,200haを超える広大な土地を接收され、戦後復興・高度成長が遅れる大きな要因に
- 平成16年、525haが提供されていたなか、6施設・区域を返還するとの方針が日米で合意
これまでに4施設375haの米軍施設が返還され、現在提供中の施設は4施設150ha

【表1】市内米軍施設の現況

		施設名 [返還日]	面積 (ha)	進捗状況等【所管局】
平成16年の返還方針合意施設 375ha	返還済	①旧小柴貯油施設 [H17.12.14]	53	小柴自然公園として整備中【みどり環境局】
		②旧富岡倉庫地区 [H21.05.25]	3	H23.7跡地利用基本計画策定 見直しも視野に活用検討を継続
		③旧深谷通信所 [H26.06.30]	77	H30.2跡地利用基本計画策定 各施設の基本計画を検討【みどり環境局】【健康福祉局】【道路局】 都市整備局は、公園、公園型墓園、外周道路の整備に関する全体調整及び暫定利用中の本市管理区域の維持管理を継続
		④旧上瀬谷通信施設 [H27.06.30]	242	土地区画整理事業、公園事業を実施中 【脱炭素・GREEN×EXPO推進局】
提供中 150ha		⑤根岸住宅地区 [R1.11.15 共同 使用日米合意]	43	R1.11 原状回復作業を速やかに実施するための共同使用が合意 R3.3 跡地利用基本計画策定 R3.7～防衛省による原状回復作業を実施中
		⑥池子住宅地区及び 海軍補助施設 (横浜市域)	1 36	飛び地：災害時避難場所として米軍を含め訓練等を実施 飛び地以外：倉庫等として継続的に使用
		⑦鶴見貯油施設	18	在日米軍の航空機燃料を貯蔵、鉄道及び車両で横田基地への供給施設として継続的に使用
		⑧瑞穂ふ頭/ 横浜ノース・ドック	52	港湾施設として物資の搬出入、貨物輸送等の拠点として継続的に使用

他に小柴水域（42ha）、瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドック水域（11ha）の2か所の水域を提供中

横浜市内米軍施設区域位置図

